

令和7年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

国 語

言葉に関心を持ち、複数の情報を整理して内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、根拠を明確にして自分の考えを適切に表現する学習をしましょう。

問題内容・得点状況等

一 説明的な文章の問題

本文は、「直観」と「知覚」の対比を通して物事の理解について具体的な例を挙げながら述べた文章です。説明的な文章の内容や要旨を的確に捉えているかをみる問題です。得点率は57.5%でした。

問一は、二つの空欄に入る語句の正しい組み合わせを選ぶ問題です。文章の全体と部分との関係に注意しながら内容を捉えることが大切です。

問二は、空欄に入る接続する語句を選ぶ問題です。接続する語句が、文章の構成や展開においてどのような役割を果たしているかを考えることが大切です。

問三は、書き手が述べている内容を正しく読み取り、指定された語句を用いて分かりやすくまとめる問題です。複数の情報を整理し、必要な情報を正確に捉えてまとめることが大切です。

問四は、段落の役割の説明として正しいものを選ぶ問題です。段落に書かれている内容を読み取り、論理の展開の仕方を踏まえながら、その段落が文章全体の中で果たしている役割を捉えることが大切です。

問五は、書き手の主張を正しく読み取り、空欄に入る内容を文章中から指定された字数で抜き出したり、指定された語句を用いて指定された字数で分かりやすくまとめたりする問題です。キーワードやキーセンテンスなどに留意して情報を整理し、正確に要旨を捉えることが大切です。

説明的な文章では、文章の中心的な部分と付加的な部分、主張と例示との関係、文章の構成や論理の展開などに注意して読むとともに、根拠を明確にして自分の考えをもち、表現することが大切です。

二（１） 文学的な文章の問題

本文は、プロ野球の所属球団から解雇され、社会人野球チームから誘いがかった主人公の思いを、社長との会話を通して描いた小説の一部です。文学的な文章において、場面の展開、情景や人物の描写に着目しながら、心情の変化を捉えているかをみる問題です。得点率は62.0%でした。

問一は、敬語の種類が同じものを選ぶ問題です。敬語の種類や用法について正しく理解することが大切です。

問二は、文章中の描写から読み取れる様子について、文章中から指定された字数で抜き出したり、指定された字数でまとめたりする問題です。場面の展開や登場人物の相互関係、情景描写などに注意しながら読むことが大切です。

問三は、登場人物の心情の変化について、心情が表れた描写を文章中から指定された字数で抜き出す問題です。場面の展開、登場人物の言動に着目し、複数の情報を整理しながら心情の変化を捉えることが大切です。

問四は、文章の展開や表現の効果について正しいものを選ぶ問題です。場面の設定や描写の仕方、比喻などの表現技法に着目しながら読み、それらが文章の内容を印象付ける上で、どのように働いているかを考えることが大切です。

文学的な文章では、登場人物の言動や心情、情景描写、場面の展開や登場人物の設定の仕方などに注意して読むとともに、表現の仕方や、文章に表れているものの見方や考え方について、文章中の叙述を根拠にして自分の考えをもち、表現することが大切です。

二（２） 主に語句・語彙や書写に関する問題

（１）の文章の出典である本を紹介した図書委員だよりの表現や内容を見直している場面を想定して、語句・語彙や書写に関する知識を問う問題です。得点率は54.7%でした。

問一は、書写に関する事項で、漢字の行書の基礎的な書き方について正しいものを選ぶ問題です。

問二は、漢字の読みを答える問題です。漢字について正しく理解することが大切です。

問三は、空欄に入る故事成語を選ぶ問題です。故事成語の意味や用法について正しく理解することが大切です。

問四は、適切な漢字を送り仮名も含めて正しく楷書で書く問題です。

問五は、同じ意味の助動詞を探し、その助動詞を含む文節を抜き出す問題です。助動詞の働きや活用、単語の類別、文節について正しく理解することが大切です。

問六は、空欄に入る登場人物の様子が表れている描写を（１）の文章中から指定された字数で抜き出す問題です。

語句の量を増やし、語彙を豊かにするためには、日頃から読書に親しむとともに、国語辞典や漢和辞典などを活用して、語句の意味や使い方などを確認し、話や文章の中で使うことが大切です。また、楷書とともに行書の基礎的な書き方について正しく理解することも大切です。

三 古典の問題

本文は、『淮南子』（『新釈漢文大系 第62巻 淮南子（下）』所収）からの出題です。哀公が「三不祥」の話を聞いて考えを改める話で、現代語訳を手掛かりとして古典の内容を理解する問題です。得点率は66.2%でした。

問一は、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題です。文語のきまりを知り、実際に声に出して音読することが大切です。

問二は、会話文の主語として正しいものを選ぶ問題です。文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉えることが大切です。

問三は、書き下し文を手掛かりに、返り点を付ける問題です。漢文の訓読の仕方を知り、実際に声に出して音読することが大切です。

問四は、登場人物の心情を表す表現について、対照的な内容を表す部分を文章中から指定された字数で抜き出す問題です。場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることが大切です。

問五は、本文についての会話文を手掛かりとして、空欄に入る内容を書き下し文から指定された字数で抜き出したり、指定された字数でまとめたりする問題です。複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、登場人物の言動の意味を考えることが大切です。

古典では、特有のリズムを味わうとともに、表現の工夫や効果などに注意しながら、人物関係を正確に読み取り、文章に表れているものの見方や考え方を捉えることが大切です。

四 作文の問題

「日本語の特徴で魅力を感じる」ところに関するアンケート「令和5年度『国語に関する世論調査』」（文化庁）を基に、日本語の魅力について考えを述べる場面を想定し、自分の考えを条件に従って具体的に述べる問題です。複数の情報から必要な情報を取り出して比較し、自分の知識や経験と関連付けて、自分の考えを文章にまとめる力を総合的にみる問題です。得点率は66.8%でした。

日頃から、事実や事柄について自分の考えを形成し、根拠を明確にしながら伝えることや、資料を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることが大切です。また、伝える相手や目的を意識して、自分の考えが効果的に伝わるように表現を工夫して書くことも大切です。

〈まとめ〉

言語活動を通して思考し、判断したり、複数の資料から情報を関連付けて自分の考えを形成し、表現したりする問題を出題することで、社会生活で必要とされる思考力、判断力、表現力等をみることができるようになりました。

全体の得点率は前年度より3.6ポイント下がり、62.0%でした。

日頃から、言葉に関心をもち、目的に応じて複数の情報を比較、整理しながら、内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、自分の考えを形成し、根拠を明確にしながら考えを適切に表現する学習に取り組むことが大切です。

文章を読む際は、構成や展開、登場人物などの描写に注意して読むこと、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることが大切です。文章の全体と部分、主張と例示などを読み分けて、内容を的確に捉える必要があります。また、書いたり話したりする際には、自分の考えを効果的に伝えるために、伝える相手や目的に応じてどのような表現が適切であるかを常に考え、表現や構成を工夫するよう意識することが大切です。

令和7年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

数 学

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、それらを活用して問題を解決する力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 全領域の基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題

大問2から6の出題内容を踏まえて広い範囲から出題した、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題です。得点率は76.6%でした。

(1)は、正の数と負の数の四則計算の問題、(2)は、1次式の計算の問題、(3)は、文字に数を代入して式の値を求める問題、(4)は、平方根をふくむ四則計算の問題です。式の計算の順序や符号に注意しながら正確に計算することが大切です。

(5)は、2次式を乗法公式を用いて、因数分解する問題です。

(6)は、 y が x の2乗に比例する関数について、 y の変域を求める問題です。 y が x の2乗に比例する関数のグラフの特徴を理解することが大切です。

(7)は、 y が x に反比例する関数のグラフをかく問題です。反比例のグラフの特徴を理解することが大切です。

(8)は、場合の数をもとに、確率を求める問題です。樹形図や表などを使って、起こりうる場合を順序よく整理して、確率を求めることが大切です。

(9)は、標本調査の結果から、母集団の数を推定する問題です。標本調査の意味や方法について理解することが大切です。

2 「データの活用」領域の度数分布表や箱ひげ図に関する問題

度数分布表や箱ひげ図から読み取れることをもとに、データの特徴や傾向を考察する問題です。得点率は56.9%でした。

(1)は、度数分布表から、データの最頻値が最も大きい学年を選び、その最頻値を求める問題です。

(2)は、度数分布表や箱ひげ図から読み取れることについて、正しいものを選ぶ問題です。

(3)は、度数分布表から、各学年の累積相対度数を求め、睡眠時間が7時間未満の生徒の割合が最も大きい学年について説明する問題です。

度数分布表や箱ひげ図における代表値に関する用語の意味を理解し、度数分布表から資料の特徴や傾向を読み取り、根拠を説明することが大切です。

3 「数と式」領域の文字式の利用に関する問題

数量及び数量の関係を文字式を用いて考察する問題です。得点率は44.2%でした。

(1)は、樹形図または表を用いて場合の数を数え上げる問題です。

(2)は、与えられた条件から、あてはまる数を求めたり、与えられた条件をもとに、

「はじめの数」を求めたりする問題です。

(3) は、文字式を用いて玉の並び方を考察し、条件に合う玉の並び方や計算結果を求める問題です。

(4) は、玉の並び方が異なる2つの場合について、条件に合う「はじめの数」を求める問題です。

目的に応じて式を変形したり、式の意味を読み取ったりすることが大切です。また、数量及び数量の関係を文字式や方程式を用いて考察することが大切です。

4 「関数」領域の1次関数に関する問題

日常の場面について、1次関数を用いて考察し表現する問題です。得点率は33.5%でした。

(1) は、与えられた条件から、 y の値に対応する x の値を求める問題です。

(2) は、グラフが通る点の座標を、日常の場面と結び付けて読み取り、 x と y の関係を正しく表した表を選択する問題です。

(3) は、与えられた条件から、グラフの傾きと関連付けて、電車Qの速さの範囲を求める問題です。

(4) は、2つの数量の関係を、1次関数の式を用いて表し、2直線の交点の x 座標を、具体的な場面に合わせて答える問題です。

表、式、グラフを相互に関連付けて、事象を考察することが大切です。特に、2直線の交点の座標の意味や、変化の割合、傾きや切片などが示す値を、日常の場面と結び付けて考察することが大切です。

5 「図形」領域の平面図形に関する問題

平面図形について、論理的に考察し表現したり、図形を計量したりする問題です。得点率は27.1%でした。

(1) は、正五角形の中にある図形の角の大きさを求める問題です。多角形の内角と外角の性質などの図形の性質を理解することが大切です。

(2) は、三角形の相似を証明する問題です。

(3) は、相似比や特別な直角三角形の辺の比、円周角の定理、三平方の定理などを活用して、円の直径を求める問題です。

図形の性質について、構想や見通しを立てた上で、三角形の合同条件や相似条件をもとに証明することや、証明したことを振り返って新たな性質を見いだすことが大切です。また、図形の中にある線分の長さを求める際は、基本的な図形の性質や、図形の合同や相似に着目することが大切です。

6 「図形」領域の空間図形に関する問題

空間図形について、論理的に考察し表現したり、図形を計量したりする問題です。得点率は17.4%でした。

(1) は、与えられた三角柱の展開図として、正しいものを選ぶ問題です。

(2) は、与えられた条件から、三角錐の体積を求める問題です。

(3) は、空間図形の一部を平面図形として捉え、図形の性質や三平方の定理を利用して線分の長さを求め、相似比などを活用し、三角形の面積比を求める問題です。

空間図形においては、図形を直感的に捉えた上で、論理的に考察することが大切です。特に、目的に応じて空間図形の一部を平面図形として捉えたり、空間図形を分割して既習の図形として捉えたりすることが大切です。また、見取図や展開図から図形の性質を読み取って空間図形のもつ性質を考察し表現することも大切です。

〈まとめ〉

全領域において、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能や、思考力・判断力・表現力を問う問題を出題しました。

全体の得点率は、前年度より 5.6 ポイント下がり、47.1%でした。

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それらを活用して論理的に考察し表現する学習に取り組むことが大切です。特に、数学的な見方や考え方を働かせ、数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、問題解決の過程を説明したり、条件を変えて考察したりするなど、発展的に学習に取り組むことが大切です。

令和7年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

社 会

社会的な事柄や出来事を理解し、様々な側面、立場などから捉えたり、社会に見られる課題の解決に向けて自分の意見や考えをまとめたりする学習を通して、知識及び技能、思考力・判断力・表現力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 古代から近代までの日本の歴史に関する問題

政治、文化、世界との関わりに関するおもなできごとをまとめたカードをもとに、古代から近代までの歴史の大きな流れや各時代の特色について問う問題です。得点率は61.0%でした。

問1は、近代の文化の特色から、最も関わりのある人物を選ぶ問題です。

問2は、古代の政治の特色について、資料から読み取れることをもとに、指定された語句を使い文章を完成させる問題です。

問3は、近世のわが国と世界との関わりに関するできごとを選ぶ問題です。

問4は、中世の文化の特色について、資料をもとに、適切な語句を選ぶ問題です。

問5は、古代の律令制について、資料をもとに、適切な語句を答える問題と、その内容と最も関係がある時代のカードを選ぶ問題です。

問6は、時代が古い方から順にカードを並びかえたとき、新たに作成したカードがどこに入るかを答える問題です。

歴史上のできごとや人物等について調べたり考えたりする際には、年表・地図・写真・統計・図表等の様々な資料を活用しながら、政治、産業、経済、文化等の側面から各時代の特色を明らかにし、わが国の歴史の大きな流れを捉えることが大切です。

2 近現代の日本や世界の歴史に関する問題

20世紀のわが国の歴史に関する新聞記事から作成したメモをもとに、わが国の国際社会との関わりや人々のくらしの変化について問う問題です。得点率は38.5%でした。

問1は、わが国初の本格的な政党内閣であった原敬内閣について、資料から読み取れることを関連づけて、文章を完成させる問題です。

問2は、現代の外交に関するできごとを、年代が古い方から順に並べる問題です。

問3は、中東戦争が始まってからのわが国の様子について、適切な語句を選ぶ問題と、適切な語句を答える問題です。

近現代の歴史の学習を進める際には、わが国の歴史に関わるできごとを、様々な資料を活用しながら世界の動きとの関わりから捉えることが大切です。また、時期や年代に着目しながら、政治、産業、経済、文化等の側面から、学習した内容を比較したり関連づけたりとすることが大切です。

3 世界の地理に関する問題

略地図，資料，表から，世界の州や国の特色について問う問題です。得点率は60.8%でした。

問1は，中心からの距離と方位が正しい地図をもとに，東京からの距離が近い順に都市を並べる問題です。

問2は，大陸別の気候帯の割合に関する資料から読み取れることをもとに，乾燥帯にあてはまるものを選ぶ問題です。

問3は，州別の面積，農業従事者一人あたりの農地面積，人口，年平均人口増加率に関する資料から読み取れることをもとに，アフリカ州と北アメリカ州のデータを選ぶ問題です。

問4は，ブラジルの再生可能エネルギーの内訳に関する資料について，適切なエネルギー名を答える問題と，適切な語句を選ぶ問題です。

問5は，資料から読み取れることをもとに，指定された語句を使ってオーストラリアの貿易の特色をまとめた文章を完成させる問題です。

自然環境や人々の生活，経済，文化等について，世界各州の違いに関心をもつことが大切です。また，地図や各種の統計資料を読み取り，比較したり関連づけたりして，各州の特色やその要因を様々な面から考えることで，地域的特色を捉えることが大切です。

4 日本の地理に関する問題

図，略地図，表，資料から，日本の様々な地域の特色について問う問題です。得点率は53.0%でした。

問1は，北海道の道庁所在地の位置について，緯度，経度から適切なものを選ぶ問題です。

問2は，火力・水力・原子力それぞれの発電所の分布を示した資料から，水力発電所の分布を示した資料を選び，そう判断した理由を説明する問題です。

問3は，指定された府県の人口の特色に関する資料から適切に情報を読み取り，あてはまる県のデータを選ぶ問題です。

問4は，中部地方の工業の特色に関する資料から適切に情報を読み取り，中部地方のグラフと，指定された県のグラフを選ぶ問題です。

問5は，関東地方の農業の特色に関する資料から読み取れることをもとに，群馬県で8月にキャベツを盛んに出荷できる理由を説明する問題です。

各地域における自然環境と人々の生活とのつながりについて理解を深めるとともに，地図や各種の統計資料を読み取り，それらに示された情報と知識とを結び付け，地域的特色を捉えることが大切です。

5 現代の政治，国際関係，経済に関する問題

学習課題を示したカードをもとに，政治，国際関係，経済の制度やしぐみについて問う問題です。得点率は53.8%でした。

問1は，日本の裁判制度について，適切な語句を答える問題です。

問2は、日本国憲法の改正に必要な条件と流れについて、文章を完成させる問題です。

問3は、国会について、適切な語句を選ぶ問題と、資料から読み取れることをもとに、指定された語句を使って文章を完成させる問題です。

問4は、国際連合について、資料から適切に情報を読み取り、資料中の組織と、あてはまる語句を選ぶ問題です。

問5は、市場における価格の決まり方について、資料から適切に情報を読み取り、あてはまる語句を正しく組み合わせたものを選ぶ問題です。

問6は、資料から読み取れることをもとに、指定された語句を使って所得税のしくみを説明する問題と、財政の課題に関する文章を完成させる問題です。

現代社会の諸課題が起こっている原因や影響を追究し、自分の考えを説明したり、他者と議論したりする活動を通して考えを深め、制度やしくみの意義や働きを捉えることが大切です。

6 現代社会の課題に関する問題

会話文と資料をもとに、わが国の農業における情報通信技術の活用について問う問題です。得点率は64.8%でした。

問1は、資料から読み取れることをもとに、スマート農機を活用する利点を答える問題です。

問2は、資料から読み取れることを関連づけて、わが国の農業における情報通信技術の導入の課題を答える問題です。

問3は、資料から読み取れることをもとに、農業グループの取り組みのよさを答える問題です。

広い視野で社会に関心をもち、地理的分野及び歴史的・分野、公民的分野で学んだことを総合的に活用し、現代社会が抱える諸課題の解決に向けて、様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現することが大切です。

〈まとめ〉

各分野にわたり、地図・統計・図表等様々な資料を提示し、基礎的・基本的な知識や概念、資料を活用する技能、これらの知識・技能を用いて思考・判断・表現する力を問う問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より3.9ポイント下がり、56.1%でした。

基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、日頃から様々な資料が示す意味（分布、推移、割合等）を読み取ること、複数の資料から読み取れることを関連づけて考察すること、考察したことを相手に分かりやすく適切に表現することを意識して、学習に取り組むことが大切です。

令和7年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

理 科

見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を整理し、分析して解釈するなど、科学的に探究する過程を通して、基礎的・基本的な知識及び技能と科学的な思考力や表現力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 生物領域に関する問題

生命を維持する働きに関する問題です。得点率は51.2%でした。

問1は、消化酵素の働きによって、脂肪を分解した後にできる物質を問う問題です。

問2は、消化酵素の働きを問う問題です。

問3は、消化酵素をふくまないものを問う問題です。

問4は、ヒトが食物をとり入れる理由を植物と比較して説明する問題です。

消化酵素を用いた実験を行い、消化器官の働きによって食物が消化され、小腸の壁から吸収されやすい物質に変化することを理解することが大切です。

2 生物領域に関する問題

植物の根が成長するしくみに関する問題です。得点率は70.4%でした。

問1は、タマネギの根を、うすい塩酸と酢酸カーミン液の混合液に入れると観察しやすくなる理由を問う問題です。

問2は、観察結果から細胞分裂の順序を問う問題です。

問3は、観察結果をもとに、根が成長するしくみについての説明を完成させる問題です。

問4は、体細胞分裂の過程における細胞の中の染色体を、モデルで正しく表した組み合わせを選ぶ問題です。

植物の根の観察を行い、細胞分裂のしくみを理解するとともに、観察結果を比較して根が成長するしくみを考察することが大切です。また、体細胞分裂については、染色体が複製されて2つの細胞に等しく分配され、元の細胞と同質の2つの細胞ができることを理解することが大切です。

3 化学領域に関する問題

溶解度と再結晶に関する問題です。得点率は48.7%でした。

問1は、質量パーセント濃度を求める問題です。

問2(1)は、水溶液からできるだけ多くの固体をとり出す方法を問う問題です。(2)は、硝酸カリウムと塩化ナトリウムの温度による溶解度の変化の違いを考察する問題です。

問3は、与えられた実験結果から、適切な溶解度曲線を選ぶ問題です。

水溶液の温度を下げたり、水溶液から水を蒸発させたりする実験を行い、水溶液から溶質がとり出せることを、溶解度と関連付けて理解することが大切です。また、溶解度が溶質の種類ごとに決まった値となり、温度によって変化することを理解することが大切です。

4 化学領域に関する問題

金属の燃焼に関する問題です。得点率は49.7%でした。

問1(1)は、金属がもつ共通の性質を問う問題です。(2)は、うすい塩酸に金属を入れたときに発生する気体を化学式で表す問題です。(3)は、金属の酸化について説明する問題です。

問2は、マグネシウムが二酸化炭素中の酸素と結びつく様子をモデルで表す問題です。

金属を加熱する実験を行い、加熱前後で物質の性質が変化することを原子の組み合わせと関連付けて理解することが大切です。

5 地学領域に関する問題

日本の春の天気の特徴に関する問題です。得点率は、38.8%でした。

問1は、天気図記号を読みとる問題です。

問2は、湿度の違いから空気1m³中に含まれる水蒸気量の差を求める問題です。

問3は、寒冷前線が通過した時間と通過にともなう気象要素(気温、風向)の変化を問う問題です。

問4は、天気図から読みとれる気圧配置の変化と日本の春の天気の特徴を関連付けて、観測した地点の天気が晴れになると考えられる理由を問う問題です。

天気や気温、風向等の気象観測のデータから気象現象の起こるしくみと規則性を見いだして理解することが大切です。

6 地学領域に関する問題

太陽の1日の動きに関する問題です。得点率は、51.3%でした。

問1は、太陽の位置を示す印を透明半球上に記録する方法を問う問題です。

問2は、太陽の日周運動を説明する問題と、透明半球上の記録から日の入りの時刻を求める問題です。

問3は、シドニー、北極付近、赤道上的における太陽の動きを選ぶ問題です。

太陽の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けて理解することが大切です。また、日周運動の見え方は、観察する地点の緯度と地軸の傾きを関連付けて考察することが大切です。

7 物理領域に関する問題

凸レンズによる像のでき方に関する問題です。得点率は、39.0%でした。

問1は、凸レンズによってできる実像の向きを問う問題です。

問2(1)は、凸レンズによる実像と虚像のでき方の決まりを問う問題です。(2)は、鏡にうつる像の見え方を説明する問題です。

問3は、凸レンズによる虚像ができる位置を作図によって求める問題です。

凸レンズの働きについての実験を行い、実験の結果から、実像や虚像ができる条件、像の位置や大きさ、向きに関する規則性を定性的に見いだして理解することが大切です。

8 物理領域に関する問題

仕事の原理に関する問題です。得点率は、37.9%でした。

問1は、仕事の大きさを求める問題です。

問2は、斜面上で静止しているおもりにはたらく重力の分力を矢印で表現し、斜面に垂直な分力の大きさを求める問題です。

問3は、仕事の原理についての説明を完成させる問題です。

問4は、仕事率を用いて、糸を引く速さの大小関係を問う問題です。

仕事の大きさを調べる実験を行い、おもりを引き上げる力と糸を引く距離に関する規則性を見だし、仕事の大きさに関連付けて理解することが大切です。

〈まとめ〉

授業で行う観察、実験を中心に、各分野から出題しました。その際、自然科学の概念と科学の方法を用いて課題を解決する力をみるように配慮しました。また、観察、実験の結果や資料から、図や表、グラフを用いて考察する問題を出題しました。

全体の得点率は前年より14.3ポイント下がり、48.4%でした。

理科の授業において、自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験に主体的に取り組み、結果を整理し、図や表、グラフなどにまとめて考察したり、日常生活や社会と関係付けて説明したりすることが大切です。

令和7年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

英 語

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔発表〕」、「話すこと〔やり取り〕」、「書くこと」の4技能（5領域）を高め、思考力・判断力・表現力等を身に付ける学習を繰り返しましょう。

問題内容・得点状況等

【英語リスニングテスト】

英語の質問に英語で適切に答えたり、必要な情報やまとまりのある英文の要点を聞き取ったりする問題です。得点率は52.2％でした。

問題1は、英語の短い質問を聞き取り、文字を介さずに適切な応答を選ぶ問題です。

問題2は、表や図を見ながら、情報を正確に聞き取り、質問に答える問題です。

問題3は、2人の対話の要点を正確に聞き取り、質問に対する答えを選ぶ問題です。

問題4<問1>は、英語の授業でスミス先生がしたお別れの挨拶を聞き、要点を捉え、質問に答える問題です。<問2>は、関連する質問を聞き、自分の考えを表現する問題です。

質問を素早く正確に聞き取り、即座に答えたり、まとまりのある英文を聞きながらメモを取り、そのメモを活用しながら質問に答えたり、自分の考えを表現したりすることが大切です。

【英語筆記テスト】

1 「話すこと」に関する問題

英語による対話文を読んで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて表現する力を問う問題です。得点率は65.3％でした。

英文の意味と文構造を理解する学習を行うだけでなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを想定して英語でやり取りすることが大切です。

2 「話すこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題

英語による会話とメールを読んで、概要や要点を把握する力を問う問題です。放課後の英語クラブで海外に住む中学生とオンラインを活用して会話を行い、その中で自分たちの町のお祭りについて話し合い、疑問を抱いたことを主体的に解決しようとする会話の内容と、その後調べてわかったことや、これからさらに調べていきたいことを共有しようとするメールの内容を読み取ります。得点率は52.7％でした。

問1は、会話の内容を理解し、適切な表現を選ぶ問題です。

問2は、会話の内容を理解し、語と語の区切りやつながりに注意して、正しい文を完成させる問題です。

問3(1)は、会話とメールの概要や要点を捉え、適切な表現を選ぶ問題です。

問3(2)は、会話とメールの概要や要点を捉え、質問に答える問題です。

日頃から、まとまりのある英文を聞いたり読んだりして概要や要点を捉え、それをもとに話したり書いたりすることが大切です。

3 「読むこと」「書くこと」に関する問題

まとまりのある英文を読んで、概要や要点を捉える力や、読み取った内容をもとに自分の考えを表現する力を問う問題です。クラスメイトと共にトマトジュースに合うトマトを栽培し、その中で生じた課題を主体的・協働的に解決しようとするという英文の内容を読み取ります。得点率は41.4%でした。

問1は、英語による質問の答えとなる適切な部分を読み取り、英語で答える問題です。

問2は、英文の下線部が示す具体的な内容を読み取り、日本語で説明する問題です。

問3は、英文とグラフから読み取れる内容を理解し、英文の下線部に該当するものを答える問題です。

問4は、英文の概要や要点を捉え、内容に合う文を選ぶ問題です。

問5は、英文に関連する質問について、自分の考えを表現する問題です。

日頃からまとまりのある英文を読んで、書き手が伝えようとすることや自分に必要な情報などを整理したり、メモにまとめたりすることが重要です。また、そのメモをもとに自分が持っている知識やこれまでの経験と結び付けて、自分の考えや気持ちなどを英語で表現することが大切です。

4 「書くこと」に関する問題

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えが相手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意してまとまりのある英文を書く力を問う問題です。

旅行を題材にした授業を計画しているリー先生からアンケートで意見を求められるという場面設定で、訪れたことがない都市に行く場合に、同行者として家族、友人、同行者なしのうち1つを選び、自分の考えを選んだ理由とともに30語以上の英語で書く問題です。得点率は49.1%でした。

日常的又は社会的な話題について自分が考えたことや感じたことを伝えるために、文と文のつながりや順序、文章の構成を意識しながら、全体として一貫性のある英文を書く学習を行うことが必要です。また、自分の考えが読み手に正しく伝わるように、理由を自分が持っている知識やこれまでの経験と結び付けて書くことが大切です。

〈まとめ〉

中学生にとって身近な場面を取り上げ、基礎的・基本的な知識を活用して、英語を理解したり、自分の考えを表現したりする問題を出題しました。全体の得点率は前年度より10.1ポイント下がり、51.1%でした。

英語でのコミュニケーション能力の一層の向上が求められる中で、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔発表〕」、「話すこと〔やり取り〕」、「書くこと」の4技能（5領域）をバランスよく高めることが重要です。そのためには、語彙や表現を充実させるとともに、素早く正確に聞き取り、即座に応答する学習を行うなど、目的や場面、状況などに応じたコミュニケーションを行う学習に繰り返し取り組むことが大切です。